

令和2年11月30日

関係各位

社会福祉法人 絆
特別養護老人ホーム愛の里名古屋東
施設長 原田 重樹

当施設における新型コロナウイルス感染者の発生に関するご報告（第二報）

平素より当施設の運営につきまして、格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
令和2年11月21日に感染判明致しました併設保育所の園児（名古屋市公表第4635例目）の濃厚接触者として認定されておりました保育職員のうち1名が、再検査の結果、陽性の確認がされました。

当施設としましては、先般の感染確認を受け、直ちに一旦閉鎖、保育職員及び園児は、自宅待機とし、その後抗原検査を行い、保育職員、園児全員の陰性を確認した所です。その後の経過観察においても新型コロナウイルスを疑う症状も一切認められておりませんでした。小さなお子様をお預かりする当園としましては、保育所再開に際し、より安全な保育体制の確保との観点から、再度対象者全員に対しPCR検査を行ったところ、1名の陽性が確認されたという経緯となります。

なお、当園は、11月21日以降、閉鎖としておりましたので、今回の陽性確認に伴う濃厚接触者は0名との判断となりますので、ご安心頂ければ幸いです。また、今回陽性が確認されました保育職員におきましては、健康状態に特段の変化もなく無症状ではありますが、現在は保健所指導のもと療養をしている状況にあります。

今後につきましては、他の保育職員及び園児全員の陰性が確認されておりますので、最初の感染報告より2週間の経過観察を経た、12月7日(月)より通常運営を予定しております。

今後も引き続き、守山区保健センターの指導のもと、関係各所との連携を密にとり、感染拡大抑止と更なる安全確保に必要な措置を講じて参りますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後も状況等について随時ホームページにて報告をさせていただきます。